

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
経済原論	田添 篤史	講義	4		2	1	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>経済学には、企業や消費主体の最適化に基づく個別主体の選択とその結果に焦点をあてるマイクロ経済学と、経済を個々の主体の単純な合成としては把握せず、一つの独自の総体として取り扱い、経済全体での動きを考えるマクロ経済学が存在している。</p> <p>当講義では前半でマイクロ経済学を、後半でマクロ経済学を取り扱い、その基本的な考え方を理解することを目的とする。</p>						
到達目標	<p>① 経済学の基本的な考え方、分析手法を理解する。</p> <p>② 実際に生じている経済問題について、自分の意見を持つことができるようになる。</p>						
回	学習内容		回	学習内容			
1	オリエンテーションー経済学の考え方		16	完全競争市場における余剰分析			
2	経済学の全体像 - 様々な考え方の存在		17	市場の状態が資源配分に与える影響			
3	マイクロ経済学の基本像		18	マクロ経済学という考え方			
4	消費者の理論を導くための準備		19	財の総供給と国民所得			
5	限界効用理論		20	消費の決定と財の需要			
6	無差別曲線とは何か		21	財市場の均衡			
7	予算線概念と最適消費点の決定方法		22	債券の価格と利子率の関係			
8	所得の変化と、それに対応する最適消費点の変化		23	貨幣を需要する動機			
9	代替効果と所得効果		24	貨幣市場の均衡			
10	生産における短期と長期の違い		25	投資の理論			
11	平均費用と限界費用についての理解		26	IS 曲線の導出			
12	利潤最大化と生産量の決定		27	LM 曲線の導出			
13	損益分岐点と操業停止点		28	政策が経済にもたらす効果			
14	独占企業の生産量決定		29	経済成長の源泉			
15	市場均衡とその安定性		30	試験および終了後に解説			
予習内容 復習内容	<p>予習：教科書の該当部分に目を通しておくこと。</p> <p>復習：配布資料および講義ノートに目を通すこと。</p>						
教科書	<p>石川秀樹（著）中央経済社『試験攻略 新・経済学入門塾 1 マクロ編』</p> <p>石川秀樹（著）中央経済社『試験攻略 新・経済学入門塾 2 ミクロ編』</p>						
成績評価	<p>毎回の授業終了後に提出するコメントシート 30%</p> <p>試験 70%</p>						
実務経験							
その他 特記事項							